

全ての製品のグリーン化を推進

富士通グループでは、全ての製品のグリーン化を推進しています。環境負荷を低減するマグネシウム合金やハロゲンフリー樹脂を採用した筐体、鉛フリーはんだ、生分解性樹脂をIT業界に先駆けて採用しているほか、取引先とも連携して環境に配慮した部品・材料を優先して購入する「グリーン調達」を積極的に推進しています。

環境会計の導入

費用対効果の推移

(単位:億円)

年度	項目	費用対効果の推移		合計
		富士通単独	主要子会社	
1999年度	費用	85	82	167
	効果	103	119	222
2000年度	費用	82	109	191
	効果	111	135	246
2001年度	費用	77	110	187
	効果	123	120	243
2002年度 (予想)	費用	80	110	190
	効果	125	120	245

分類方法:環境省「環境会計システムの確立に向けて」(2000年報告)に準ずる

環境会計に対する第三者認証は、2001年度も継続して取得しています。

循環型社会の実現にむけて

ITの活用と環境ソリューションの充実

ITを駆使した循環型社会の実現に向け、環境ソリューションの充実に力をいれています。環境を意識したお客様の経営に対応するグリーン製品の設計や情報提供システム構築サービスを提供しています。また、福島県いわき市において日本化成、富士通、富士通総研の3社共同で、ITを活用した化学排出物リサイクルのビジネスモデルを確立するなど、住民の皆様が安心して暮らせる街づくりにも貢献しています。



富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク



海外植林事業の拡大 - エコ・フォレストパーク開設

消滅の危機に瀕している東南アジアの熱帯林の再生を目指し、1997年より海外植林事業を展開しています。2002年1月、マレーシア政府、在コタキナバル日本大使館、国際協力事業団(JICA)、国際緑化推進センターの支援をうけ、富士通グループ全体からボランティア参加者、寄付金を募り、サバ州キナルート地区に約70ヘクタールの森林公園「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」を開設、4万本の植林を行いました。